

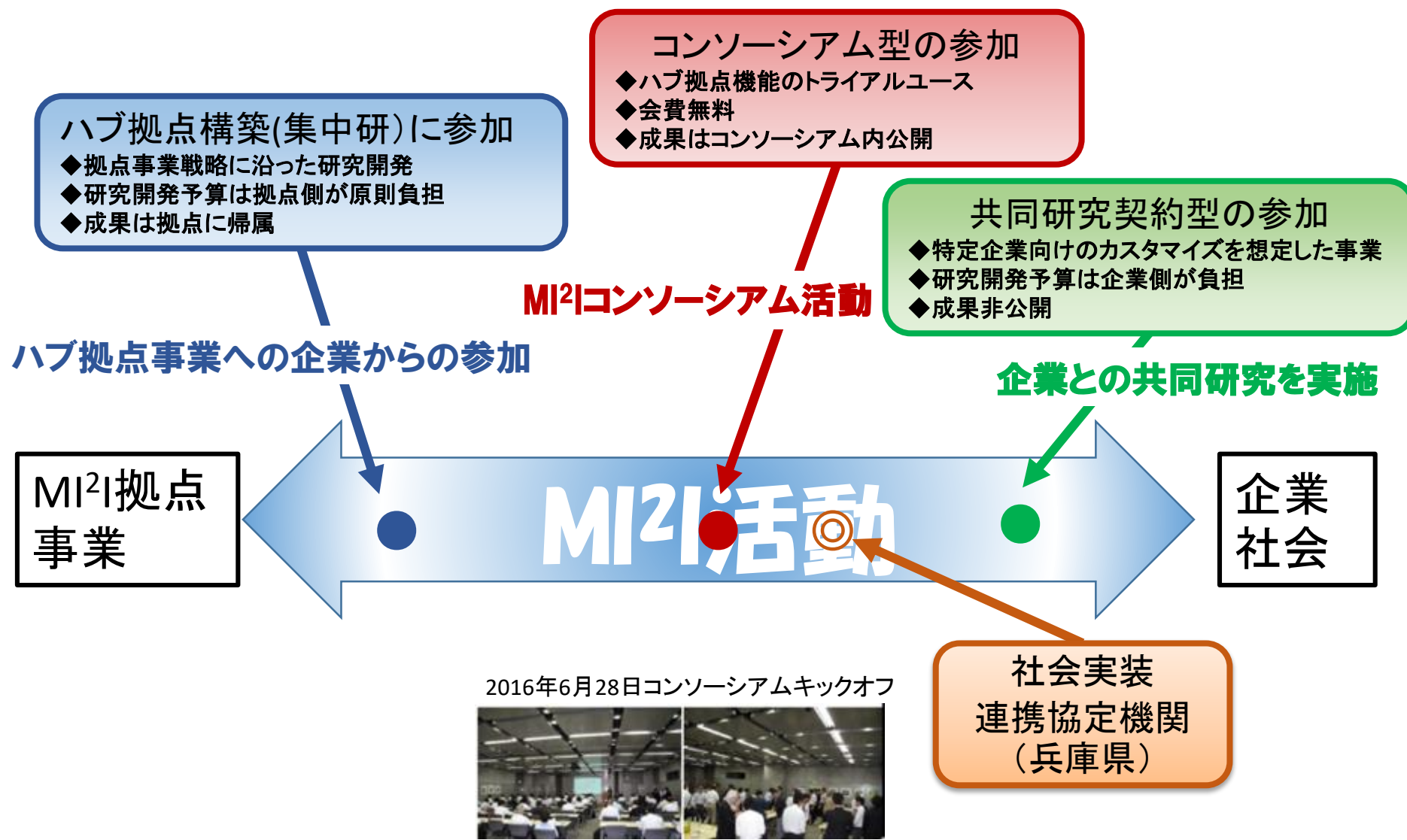
MI<sup>2</sup>I最終報告会

コンソーシアム活動報告

# 社会実装としてのコンソーシアム活動

JST MI<sup>2</sup>Iプログラムマネージャー 木原尚子

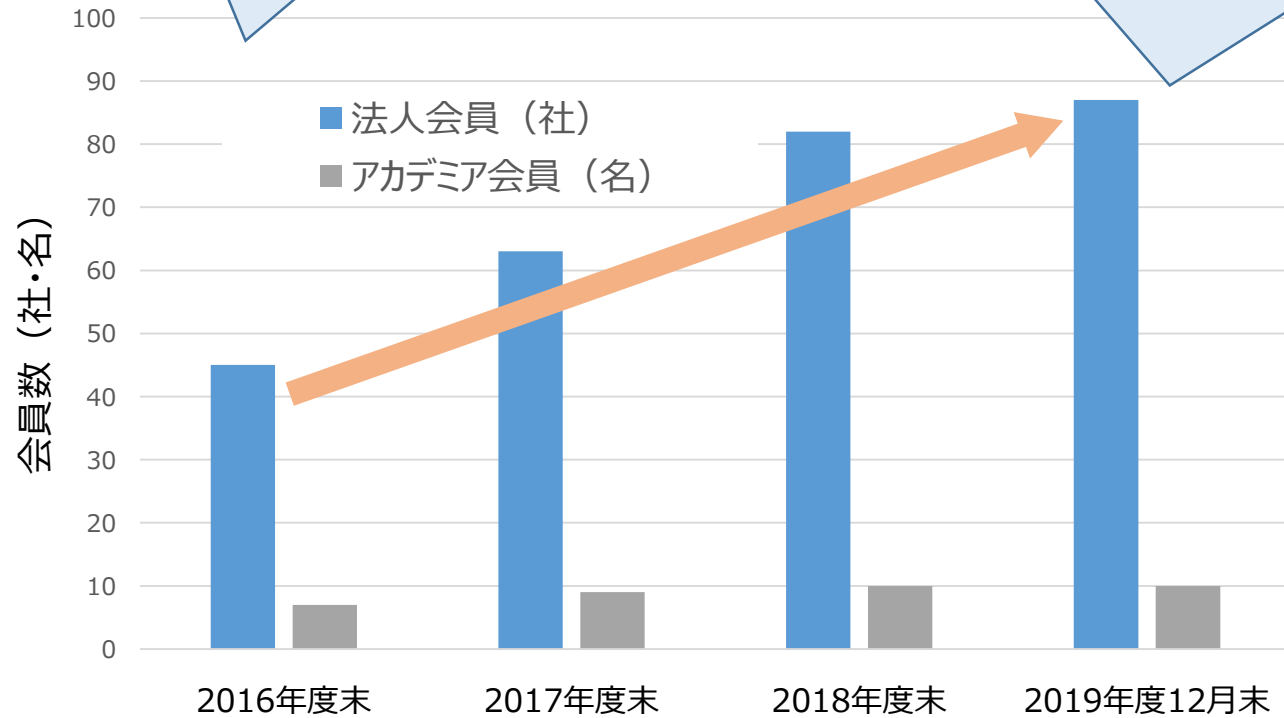
# 広い分野の産学のプレイヤーが利用しやすい複数の仕組みを実装



# MI<sup>2</sup>Iコンソーシアム会員構成

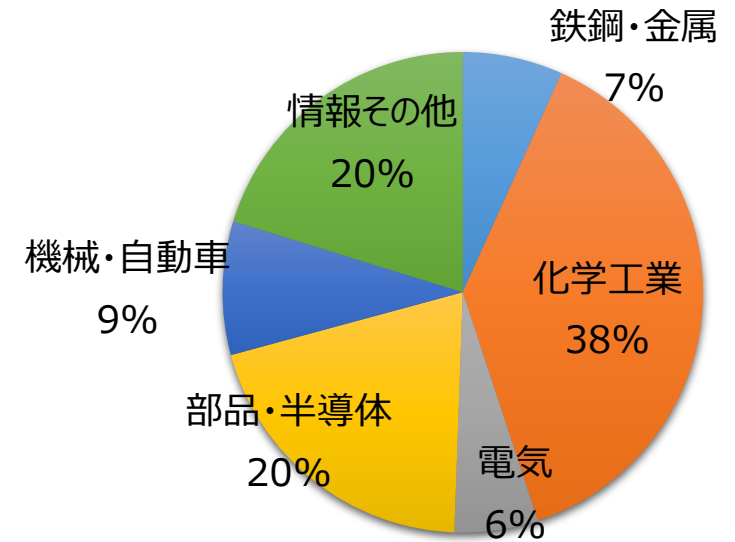
2016年4月発足

2020年1月31日現在  
 法人会員 87社 (活動員331名)  
 アカデミア会員 10名



コンソーシアム会員数推移

## コンソーシアム会員企業分野 (%)



材料を含む多くの業種から参加  
 産業界全体としての高い関心

# コンソーシアムが目指したもの

第1回コンソーシアムイベント 2016年6月28日 伊藤PL/PM資料

- 材料開発にかかわる研究者・技術者がMIの知識を身につけ、それぞれの研究開発業務に活用
- 材料DBおよびMIツールを試用し、使いこなせる実践的スキルの体得
- MI技術を実証・実用化していくための相互活動（情報共有、DPFシステムへのフィードバック、研究開発テーマの探索・提言等）
- MIを推進していく産官学・分野横断型コミュニティの形成・醸成
- これらの活動の拠点となる『場』がコンソーシアム

活動に合わせた  
体制作り

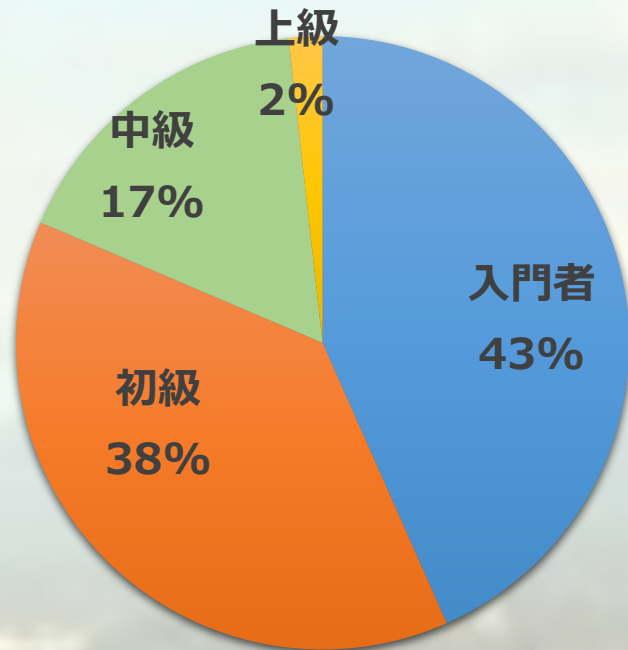
会員相互の発信

MI<sup>2</sup>i・アカデミア  
との連携・発展

・実際に出来たこと

会員のMI習熟度（自己申告）

MI分野の取り組みで  
あなた自身はどの段階と思いますか



アンケート記述からの期待内容解析

中級レベル：ある程度の経験とスキルがある  
技術習得よりNIMS研究者からの最新情報取得に期待

初級レベル：技術も情報も不足しているが、欲しいものが見えている。  
コンソ活動（セミナー／イベント）にはそこそこに満足。

入門者レベル：まずは技術を取得したいが、知識・情報も欲しい。  
基礎からの入門編セミナーを期待。

# コンソーシアム活動

活動に合わせた  
体制作り

- |                          |                |
|--------------------------|----------------|
| ・年4回（最終年度3回）のコンソーシアムイベント | 会員限定           |
| ・チュートリアルセミナー             | 会員優先案内         |
| ・ハンズオンセミナー               | 会員優先受講         |
| ・法人会員向けハンズオンセミナー         | 会員限定           |
| ・MI <sup>2</sup> I-DPF試用 | NIMS外来研究者登録活動員 |
| ・チュートリアルセミナーDVD提供        | 1枚/会員に提供       |
| ・非公開全体会議（プロジェクト報告会）参加    | 人数限定参加         |

知識を身に着ける

実践的スキル習得

MI技術を実証・実用  
化のための相互活動

# コンソーシアム活動の社会実装への波及効果

## 会員相互の発信

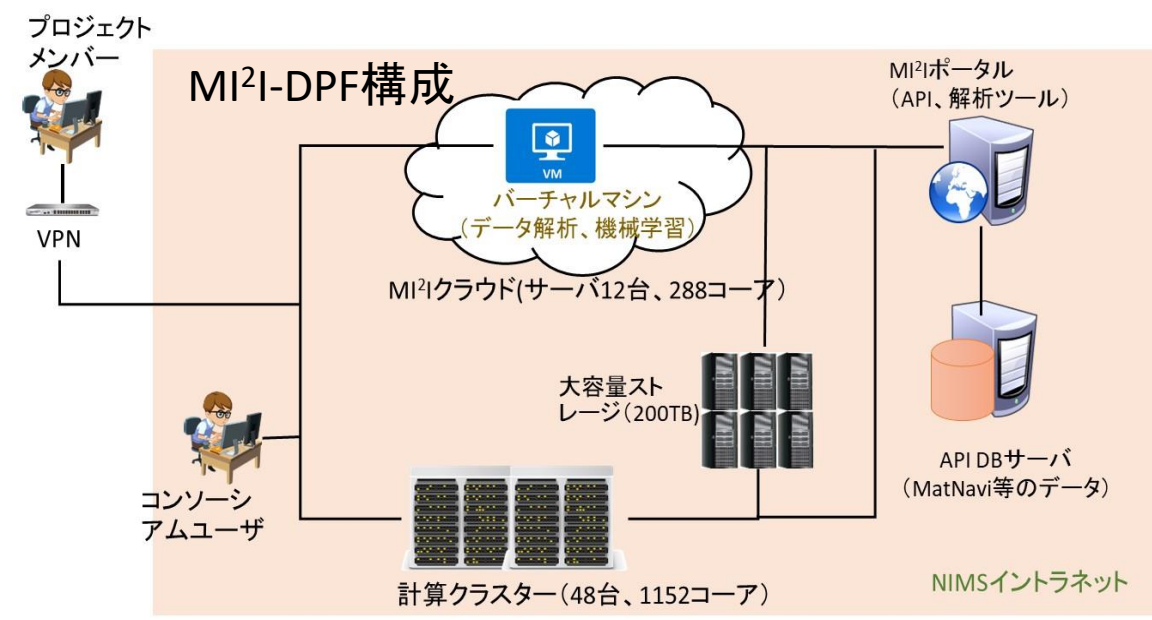
- データ蓄積・定量化意見交換会  
～会員の意見交換会～

MIで材料開発するにはまずはデータが必要だけど  
社内データをMIに活用するために、何が必要か

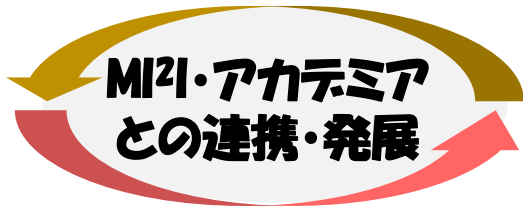


- ・将来的に社内でのMI活用  
に何が必要か
- ・打つべき手は？
- ・アクションの可視化

- ・材料DBおよびMIツールを試用し、使いこなせる実践的スキルの体得



- ・WWG活動  
MI²I-DPFを使った手を動かす活動  
企業目線でのDPF活用

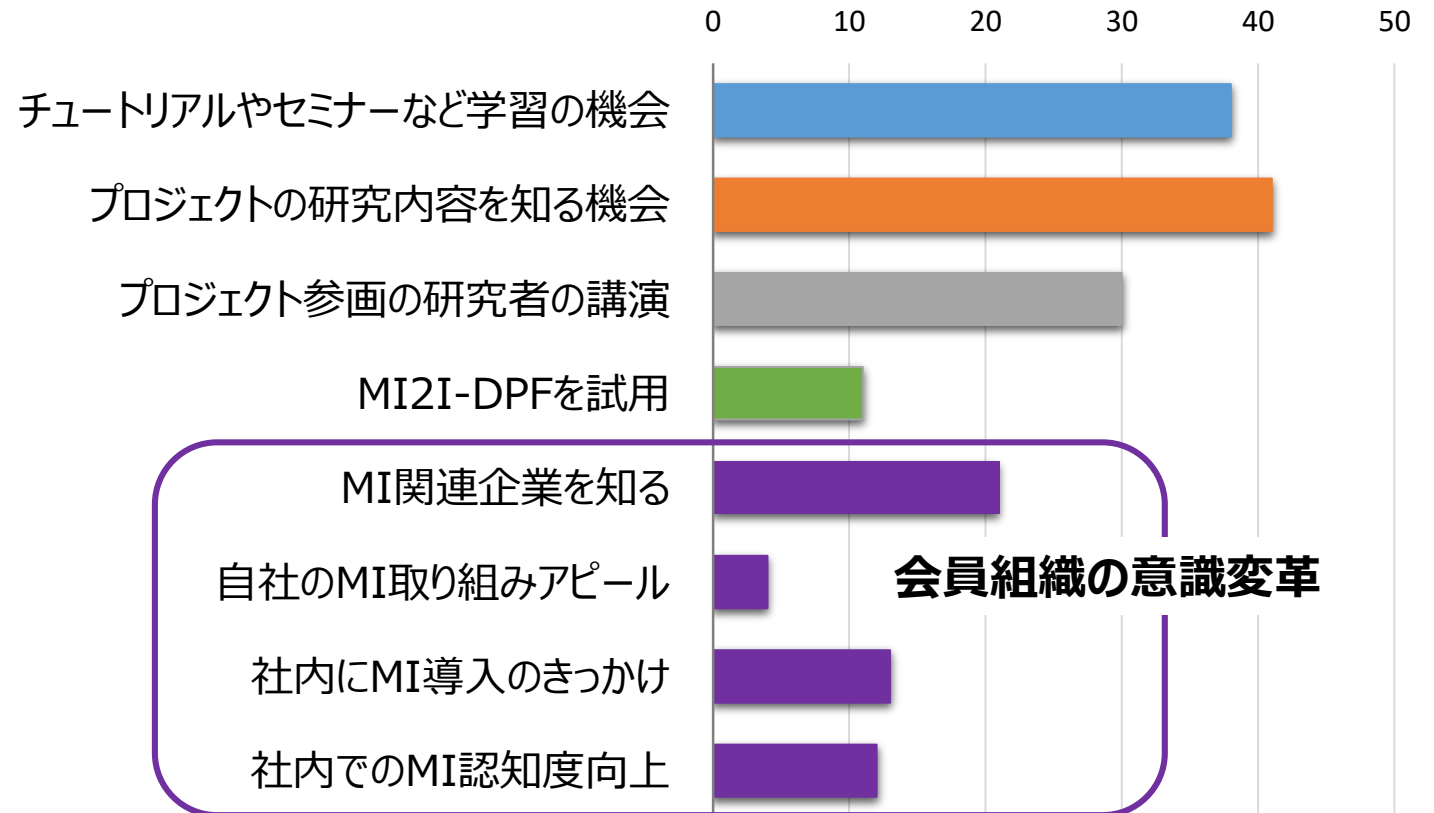


## MI²Iコンソーシアムの機能

- 教育（セミナー・チュートリアル）**  
MIの知識、実践的手法の伝授
- 情報収集**  
コンソイベント等での研究最前線の紹介
- 共同研究への入り口**  
PJ研究者との交流
- MI²I-DPF 試用**  
データベース、ツールを使ったワークフローの習得

## コンソーシアム活動で得られたもの

2020年1月会員アンケート

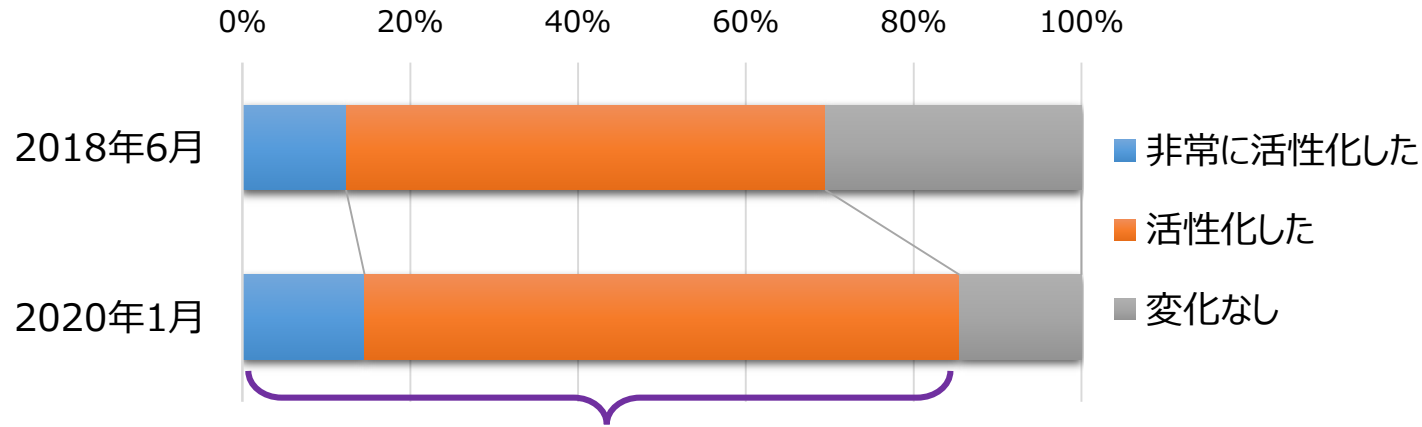


会員組織の意識変革



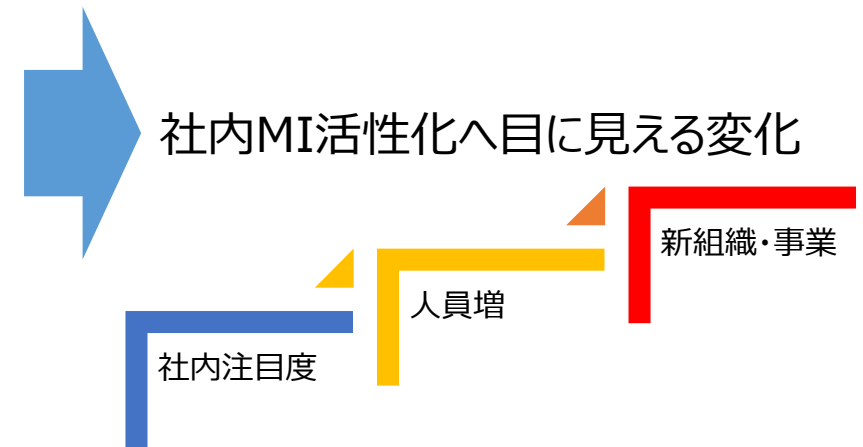
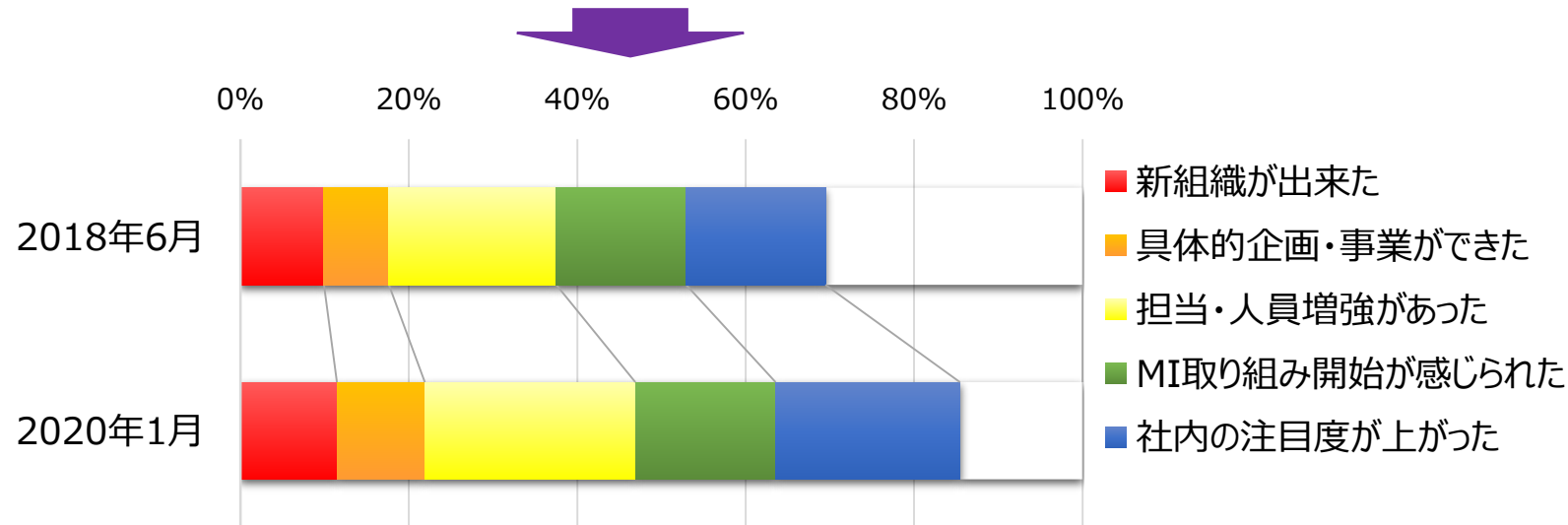
# コンソーシアム活動の社会実装への波及効果

## MI<sup>2</sup>Iコンソーシアム入会後のMIに関する社内変化



活性化： 2018年6月 7割  
⇒2020年1月 8割以上

## 社内MI活性化回答者に具体的な変化について質問



2016年4月～2020年3月

データ駆動型の材料開発に興味を持つ企業全体を対象としたコンソーシアム



2020年4月～

対象者・機能別の組織&活動へ

NIMS  
データ駆動材料開発  
パートナーシップ

学会・研究会での活動

自社でのMI活用展開

## MI<sup>2</sup>コンソーシアム活動で培ったモノ・コトの活用・発展

## NIMS データ駆動材料開発 パートナーシップ

### ■ データ駆動材料開発パートナーシップ

4月1日スタート

発足イベント：3月27日（金）@つくば千現  
イベントはどなたでも参加できます。

参加申込はパートナーシップHPから  
（中会議室でポスター発表もあります）

[https://www.nims.go.jp/MaDIS/MaDIS\\_Partnership.html](https://www.nims.go.jp/MaDIS/MaDIS_Partnership.html)

## 学会・研究会での活動

### ■ 応用物理学会 新領域グループ

「インフォマティクス応用研究グループ」設立

### ■ 日本学術振興会

先導研究開発委員会「マテリアル・インフォマティクスによるモノづくりプラットフォーム委員会」

⇒2020年度はナンバー委員会 不採択。

## ■公益社団法人 応用物理学会

- ・応物のインフォマティクス関連活動

2018年秋、2019年秋の学術講演会でマテリアルズインフォマティクスに関するシンポジウムを企画

⇒2020年春季学術講演会で**合同セッションN「インフォマティクス応用」**を開催 (3/13-15)

- ・応用物理学会の活動組織である「新領域グループ」に新グループ設立申請⇒承認

### 新領域グループ

### 「インフォマティクス応用研究グループ」発足(4/1~)

- ・「インフォマティクス応用研究グループ」の活動  
⇒年数回の講演会、研究会、講習会などの主催

- ・会員：応用物理学会 会員、非会員も参加可

- ・会費：一般賛助会員（企業）の年会費は50,000円  
一般・学生会員は無料

コンタクト：応用物理学会ホームページに  
「インフォマティクス応用研究グループ」  
ホームページ準備中



**有難うございました**